

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

現在、腎臓内科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、本学倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。可能な限り個別に研究対象者にご説明し、同意を得て研究を行っていくこととしていますが、すでに当科へ定期通院されていないなどの理由ですべての研究対象者に個別に同意が得られていません。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方も下欄の研究内容の問い合わせを担当者までお申し出いただければ、詳細をお伝えいたします。その上で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、患者さんに一切不利益が生じることはありません。また、研究終了までの間は、ご自身の情報提供を拒否することができます。

[研究課題名]

成人巣状分節性糸球体硬化症におけるリツキシマブの有効性の検討

[研究対象者]

2008年12月から2017年4月までの間に、東京女子医科大学腎臓内科でリツキシマブ治療をうけられた巣状分節性糸球体硬化症の方。2008年11月に開始された「リツキシマブによる慢性糸球体腎炎に対する有効性と安全性に関する研究」(研究責任診療科：腎臓内科、研究責任者：新田孝作 教授)にご協力いただいた方うち、巣状分節性糸球体硬化症の方も含まれます。

[利用している診療情報等の項目]

以下の項目について、診療録から2017年12月までの情報を入手し利用させていただきます。

診療情報等：診断名、年齢、性別、既往歴、併存疾患名、治療歴、身長、体重、血圧、検査結果(尿検査、血液検査、腎病理検査)、Selectivity index(尿蛋白選択性)、有害事象

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

巣状分節性糸球体硬化症に対するリツキシマブの有効性と安全性について解明することを目的としています。

[利用期間]

倫理委員会承認後より2020年3月までの間(予定)

---

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学 第四内科 教授 新田孝作

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 第四内科 井野文美

電話：03-3353-8111 (内線33511) (応対可能時間：平日9時～16時)

ファックス：03-3356-0293 Eメール：aino@twmu.ac.jp